

第2次大阪府スポーツ推進計画

～スポーツがあふれる、スポーツでつながる OSAKA～

進捗状況と課題（令和2年12月末現在）

大阪府・大阪府教育委員会

I 府民誰もがスポーツに関わり親しむ機会の創造

(1) あらゆる世代でのスポーツ活動の推進

府民誰もがそれぞれのライフステージにおいて豊かな生活を送ることができるよう、市町村、学校体育・スポーツ関係者・団体、企業等と連携して、様々なジャンルや種目のスポーツを「いつでも」「どこでも」「どのようにも」楽しむことができる環境整備を推進します。

①子ども

幼児期の運動経験や運動の好き嫌いがその後の運動習慣や体力・運動能力に影響を与え、また、複数のスポーツの経験がより良い効果をもたらすことから、就学前から義務教育期にかけて様々な運動・スポーツに親しむ機会を創出します。

学校における体育活動を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育てます。

学校教育の一環として行われる運動部活動は、人間関係の構築を図ったり、自己肯定感を高めたりする等教育的意義が高いことから、運動部活動においても、授業との関連を図りつつ、「する」だけでなく、「みる」「ささえる」の視点から、スポーツが持つ様々な良さを実感し、生涯にわたるスポーツとの豊かな関わり方を学べるよう取り組みます。

主な施策の方向性	事業名 予算	概要	成果	課題	担当課
【施策1】 「アクティブ・チャイルド・プログラム」等の運動遊びプログラムを普及させるとともに、幼児期の運動経験の重要性についての情報提供等を行います。	—	・大阪府スポーツ協会（大阪府スポーツ少年団）において、アクティブ・チャイルド・プログラム大阪府普及促進研修会を実施（R1 117千円） ・総合型地域スポーツクラブ（岬町総合型地域スポーツクラブ・みさきタコクラブ）においてアクティブ・チャイルド・プログラムを活用した事業を実施（R2 430千円）	・研修会 H30 研修会開催（平成30年12月8日） R1 研修会開催（令和2年2月11日） 参加者数 56名 R2 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・総合型地域スポーツクラブ（みさきタコクラブ） R2 107名 子ども42名 保護者23名 スタッフ27名 他15名	・参加市町村に偏りがある。また、様々な単位団に参加していただきたいが、中でも幼児期を対象にしたプログラムが中心のため、幼児がいる単位団には参加してもらいたいと考えている。しかし、このプログラムの普及が不十分な部分があり、そういった単位団の参加が少ないため、どのようにこのプログラムを広めていくかが課題。	スポーツ振興課
【施策2】 ・トップアスリート(オリンピック・パラリンピアン、プロスポーツ選手等)のパフォーマンスに触れたり直接指導を受ける機会を設ける等、子どもたちの運動・スポーツに対する興味・関心を向上させる取組を進めます。	・オリンピック・パラリンピアン派遣事業 H30 920千円 R1 928千円 R2 926千円	オリンピック・パラリンピック出場経験者による実技や講話を通じてオリンピック・パラリンピックに対する理解増進や機運醸成を図る。	・実施学校数・参加児童数 H30 6校 604名（小学校、支援学校） 府内イベント 2回 R1 7校 546名（小学校、支援学校） 府内イベント 2回 R2 7校 384名（小学校、支援学校へ派遣）	・地域や企業を巻き込んで、さらなる事業内容の充実を図ることが必要。 ・派遣していない市町村へ積極的に講師へ派遣依頼していくことが必要。	スポーツ振興課
【施策2】 ・トップアスリート(オリンピック・パラリンピアン、プロスポーツ選手等)のパフォーマンスに触れたり直接指導を受ける機会を設ける等、子どもたちの運動・スポーツに対する興味・関心を向上させる取組を進めます。	・大阪スポーツ王国事業（トップアスリート小学校ふれあい事業） H30 0千円 R1 0千円 R2 0千円	・府内小学校の授業に、トップ選手・指導者等を派遣し、児童との対話や技術紹介等の直接的なふれあいにより、小学生がスポーツのすばらしさや感動を共有できること、また夢や希望を与え、運動・スポーツに親しむ態度や習慣を身に付けます。	・実施学校数 H30 137校 R1 90校 R2 45校 ・参加児童数 H30 11,685名 R1 6,715名 R2 3,085名 新型コロナウイルスの影響で一部中止	・実施校がチーム事情により大阪市内付近に集中し、府全域の広がりに欠ける。協力チームと種目の拡充及び派遣小学校数の拡大を図る。 ・H30より大阪府ダブルダッチ協会、FC大阪参画。 ・H31より日本イベントマレット、日本生命レッドエルフ参画。 ・全チームとも報酬なしで協力いただいている。	スポーツ振興課

主な施策の方向性	事業名 予算	概要	成果	課題	担当課
<p>【施策2】</p> <p>・トップアスリート(オリンピック・パラリンピアン、プロスポーツ選手等)のパフォーマンスに触れたり直接指導を受ける機会を設ける等、子どもたちの運動・スポーツに対する興味・関心を向上させる取組を進めます。</p>	<p>・府民スポーツ・レクリエーション事業 (キッズスポーツ体験会)</p> <p>H30 分担金 6,096千円 R1 分担金 6,016千円 R2 分担金 5,000千円</p>	<p>・府内小学生を対象とした在阪のトップスポーツチームの選手・指導者によるスポーツ教室を開催します。</p>	<p>・参加者数 H30 377名 ・参加者数 R1 236名 (屋内種目のみ) ・参加者数 R2 新型コロナの影響により中止</p>	<p>・令和元年度は屋外種目について、熱中症事故予防のために中止した。今後、参加チームの事情で時期の変更は難しいので開始時間を工夫するなど検討していく。</p>	<p>スポーツ振興課</p>

主な施策の方向性	事業名 予算	概要	成果	課題	担当課
【施策3】 ・子どもたちが複数のスポーツを継続して実施できる仕組みづくりを検討します。	・総合型地域スポーツクラブ活動促進事業 H30 0千円 R1 0千円 R2 0千円	・府内のスポーツ振興を図るため、創設済みクラブのネットワークづくり等の支援を行うとともにクラブに対し指導助言や連携調整など側面的な支援を行います。	・クラブ数 H30 62クラブ R1 65クラブ R2 65クラブ	・会員や財源を確保することによる総合型地域スポーツクラブの質的充実を図るため、情報提供等を行い、クラブの活性化を支援することが必要である。また2022年度に始まる登録認証制度の準備、制度に係る中間支援組織の立ち上げについて、関係機関と連携を密にしてい。	スポーツ振興課
【施策4】 ・学校における体育活動の充実を図るとともに、地域の人材や作成した運動ツール等を活用して児童生徒のスポーツに対する意欲・関心を高め、運動習慣の定着を図ります。	・子どもの体力向上サポート事業 H30 3,190千円 R1 520千円 R2 0千円	・小学校の体育授業等で、プロスポーツ団体や体育専門の大学などの指導者が、児童や教員に直接指導を行うことで、子どもの運動に対する意欲・関心を高め、運動習慣の定着を図ります。	・体育の授業が楽しい・やや楽しいと答える小学生の割合 H30 90.3 % R1 91.2% R2 新型コロナの影響により全国体力・運動能力、運動習慣等調査が未実施	・事業成果の共有	保健体育課
【施策5】 ・児童生徒の体力や技能、年齢・性別とは関係なく運動・スポーツの多様な楽しみ方を指導できるような研修を実施し、教員の授業力を向上します。		・令和元年7月作成の「体育の授業がかわる！簡単プログラム」の活用により教員の指導力向上を図ります。	・H30 実践事例集活用研修 3回実施 (7/26,7/27,8/24) ・R1 簡単プログラム活用研修会 3回実施 (7/29,8/8,8/9) ・R2 新型コロナの影響により研修が出来なかったため小学校教員向けに動画教材の配信を実施		保健体育課
【施策6】 ・運動部活動などを通じてスポーツに関わる機会を充実させるとともに、健全な成長に配慮しながら、生涯にわたるスポーツに関わる児童生徒の育成を推進します。	社会人等活用推進費 H30 22,327千円 R1 22,307千円 R2 22,486千円 大阪府立学校部活動指導員派遣事業 H30 16,842千円 R1 32,184千円 R2 53,263千円	専門的な技術指導力を備えた指導者を必要とする学校に派遣することにより、部活動の充実を図ります。	外部指導者派遣 H30 273人 R1 274人 R2 275人 部活動指導員配置 H30 10人 R1 27人 R2 47人	希望するすべての部活動に派遣できていない	保健体育課

② 働き盛り、子育て世代

府内のスポーツ実施率は30歳代で低く、30歳代・40歳代の女性で特に低くなっています。このようなスポーツから「距離のある」人がスポーツをするきっかけとなるような取組を進め、気軽にスポーツに親しめる機会を創出していきます。働き盛りや子育て世代にとって労働時間は生活の大きなウエイトを占めていることから、企業が運動を通じた社員の健康づくりを積極的にサポートする機運を醸成します。

主な施策の方向性	事業名 予算	概要	成果	課題	担当課
<p>【施策1】</p> <p>・ショッピングモール等多くの人が集まる場所で誰でも気軽に参加できる体力測定やスポーツ体験の機会を提供する等、スポーツをするきっかけづくりを進めます。</p>	<p>・府民スポーツ・レクリエーション事業（体力測定会）</p> <p>H30 分担金 6,096千円</p> <p>R1 分担金 6,016千円</p> <p>R2 分担金 5,000千円</p>	<p>・働き盛りや子育て世代を主としたスポーツ実施率の向上をめざし、府内各所で行われる集客力のあるイベントやプロチームの試合等の開催に合わせ、来場者（特に成人層）の方々を対象とした体力測定会を実施し、測定データに基づき専門的な指導を受けることで、スポーツに取り組むきっかけを提供します。</p>	<p>・参加者数 H30 2,298人</p> <p>R1 4,600人</p> <p>R2 71人（1会場）</p> <p>新型コロナウイルスの影響により規模縮小</p>	<p>・スポーツの無関心層も含め、多様な属性の参加者が呼び込めるように実施する。（会場の検討、広報の工夫が必要）</p>	スポーツ振興課
<p>【施策2】</p> <p>・世界最大の一般参加型、国際総合スポーツ大会であるワールドマスターズゲームズ2021関西を好機として、府民の「する」スポーツへの参加意欲を向上するための取組を進めます。</p>	<p>・ワールドマスターズゲームズ2021関西大阪府実行委員会負担金</p> <p>R1 10千円</p> <p>R2 10千円</p>	<p>・ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催準備</p> <p>・大会の認知度向上、機運の醸成を図るとともに、平成33年5月の開催に向けた準備を府内開催3市（岸和田市、東大阪市、泉南市）と連携しながら進めます。</p>	<p>・競技別実施要項の完成（競技日程・競技会場の公表）</p> <p>・イベント等でのPR H30 90回</p> <p>R1 60回</p> <p>R2 新型コロナウイルスの影響により中止</p> <p>・府民認知度 H30 22.5%</p> <p>R1 20.6%</p> <p>R2（1月末調査実施）</p> <p>・H30 決起大会（1000日前）の実施（組織委員会・府・政令市と連携した協働イベント）</p> <p>・R1 2年前イベントの実施（5月26日）決起大会の実施（11月19日）</p> <p>・R2 新型コロナウイルスの影響により中止</p>	<p>・各媒体やHPを活用して広報の強化を図る必要がある。</p>	スポーツ振興課

主な施策の方向性	事業名 予算	概要	成果	課題	担当課
<p>【施策 3】 ・「健康経営」の普及を通じて、企業における運動等を通じた社員の健康づくりを促進します。</p>	<p>中小企業の健康づくり支援事業 H30 20,601千円 R1 20,787千円 R2 11,230千円</p>	<p>府内中小企業を対象に、職場の健康課題に応じた「健康経営ナビゲーター」を派遣し、健康経営の取組みを支援します。また、健康経営や職場の健康管理などに関する「健康経営セミナー」を開催するとともに、従業員の健康づくりにつながる優れた取組みを表彰する「大阪府健康づくりアワード」を実施し、健康経営の普及啓発を行います。</p>	<p>健康経営セミナー H30 開催回数：5回 参加者数：480人 R1 開催回数：3回 参加者数：223人 R2 開催回数：3回（うち2回はR3.2以降実施予定） 参加者数：383人 （新型コロナウイルスの影響によりオンラインで実施）</p> <p>健康経営ナビゲーター H30 派遣数：11企業 R1 派遣数：11企業 R2 これまでナビゲーター派遣を行った企業の、健康経営に関する事例を紹介する動画を撮影し、広く啓発を行った。</p> <p>健康づくりアワード H30 （職場部門） 応募数：25団体 表彰数：9団体 （地域部門） 応募数：20団体 表彰数：7団体 R1 （職場部門） 応募数：31団体 表彰数：9団体 （地域部門） 応募数：19団体 表彰数：7団体 R2 新型コロナウイルスの影響により中止</p>	<p>コロナ禍での「中小企業の健康経営」への取組支援のあり方</p>	<p>健康づくり課</p>
<p>【施策 4】 ・女性のニーズや意欲にあったスポーツ機会を提供する等、女性のスポーツ参加拡大への取組を支援します。</p>	<p>・府民スポーツ・レクリエーション事業（スポーツ体験会） H30 分担金 6,096千円 R1 分担金 6,016千円 R2 分担金 5,000千円</p>	<p>・スポーツ実施率の低い20～40代の働き盛り・子育て世代を主な対象者とし、専門家の指導を受けながら、ジョギングやヨガなど気軽に取り組める運動を体験することで、日常的にスポーツに取り組むきっかけを提供します。</p>	<p>・参加者数 H30 1回実施 約200人 R1 8回実施 約4,600人 R2 新型コロナウイルスの影響により未実施</p>	<p>・スポーツに関する気づきの場にはなっているが、体験後にそのスポーツを継続して実施してもらえているか不明。 ・スポーツ協会やスポーツ団体と協力・連携し、今後活動できる場を紹介するなどの啓発活動を行っていく。</p>	<p>スポーツ振興課</p>
<p>【施策 5】 ・子どもと一緒に参加できるイベントや教室等、働き盛りや子育て世代が参加しやすいスポーツ機会の提供を進めます。</p>	<p>【再掲】 ・府民スポーツ・レクリエーション事業（スポーツ体験会） H30 分担金 6,096千円 R1 分担金 6,016千円 R2 分担金 5,000千円</p>	<p>【再掲】 ・スポーツ実施率の低い20～40代の働き盛り・子育て世代を主な対象者とし、専門家の指導を受けながら、ジョギングやヨガなど気軽に取り組める運動を体験することで、日常的にスポーツに取り組むきっかけを提供します。</p>	<p>【再掲】 ・参加者数 H30 1回実施 約200人 R1 8回実施 約4,600人 R2 新型コロナウイルスの影響により未実施</p>	<p>【再掲】 ・スポーツに関する気づきの場にはなっているが、体験後にそのスポーツを継続して実施してもらえているか不明。 ・スポーツ協会やスポーツ団体と協力・連携し、今後活動できる場を紹介するなどの啓発活動を行っていく。</p>	<p>スポーツ振興課</p>

③ 高齢者

平均寿命が延伸し高齢期が長くなっています。幸福で豊かな高齢期の実現には健康保持・増進や介護予防が必要であり、それにはスポーツが大きな役割を果たすことができます。
 高齢者が身近に気軽にスポーツを継続できる環境の整備を図ります。また、生きがいづくり、仲間づくりの意味からも、高齢者が地域でスポーツ活動を通じた社会参加ができるような仕組みを構築します。

主な施策の方向性	事業名 予算	概要	成果	課題	担当課
【施策1】 ・市町村、スポーツ団体等と連携し、誰もが気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション教室、イベント等を開催します。	・府民スポーツ・レクリエーション事業 H30 分担金 6,096千円 R1 分担金 6,016千円 R2 分担金 5,000千円	・府民一人ひとりのスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、その活動を実践する場を提供するため、広くスポーツ関連団体等の協力を得て、府民スポーツ・レクリエーション事業を実施します。	H30年度 ・キッズスポーツ体験会 377名 ・生涯現役スポーツ賞 金賞17名、銀賞47名、団体賞9団体 ・発表交流会 約7,000人 ・スポーツ体験会 1回実施 約200人 ・体力測定会 14会場 2,298人 R1年度 ・キッズスポーツ体験会 236名（屋内種目のみ） ・生涯現役スポーツ賞 金賞20名、銀賞59名、団体賞13団体 ・発表交流会 約6,700人 ・スポーツ体験会 8回実施 約4,600人 ・体力測定会 13会場 4,600人 R2年度 ・キッズスポーツ体験会・発表交流会 …新型コロナウイルスの影響により中止 ・生涯現役スポーツ賞…金賞22名、銀賞65名、団体賞14団体 ・スポーツ体験会…新型コロナウイルスの影響により未実施 ・体力測定会…1会場 71人（規模縮小）	・スポーツの無関心層も含め、多様な属性の参加者が呼び込めるように実施する。(会場の検討、広報の工夫が必要)	スポーツ振興課
【施策2】 ・世界最大の一般参加型、国際総合スポーツ大会であるワールドマスターズゲームズ2021関西を好機として、府民の「する」スポーツへの参加意欲を向上するための取組を進めます。	【再掲】 ・ワールドマスターズゲームズ2021関西 大阪府実行委員会負担金 R1 10千円 R2 10千円	【再掲】 ・ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催準備 ・大会の認知度向上、機運の醸成を図るとともに、平成33年5月の開催に向けた準備を府内開催3市（岸和田市、東大阪市、泉南市）と連携しながら進めます。	【再掲】 ・競技別実施要項の完成（競技日程・競技会場の公表） ・イベント等でのPR H30 90回 R1 60回 R2 新型コロナウイルスの影響により中止 ・府民認知度 H30 22.5% R1 20.6% R2（1月末調査実施） ・H30 決起大会（1000日前）の実施（組織委員会・府・政令市と連携した協働イベント） ・R1 2年前イベントの実施（5月26日）決起大会の実施（11月19日） ・R2 新型コロナウイルスの影響により中止	【再掲】 ・各媒体やHPを活用して広報の強化を図る必要がある。	スポーツ振興課
【施策3】 ・高齢者の健康増進や生きがいの高揚等を図り、触れ合いと活力ある長寿社会づくりを目的に開催されるねんりんピック(全国健康福祉祭)に選手団を派遣します。	・全国健康福祉祭派遣事業 H30 15,321千円 R1 13,953千円 R2 15,797千円	・高齢者を中心とする国民の健康の維持、増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与する目的で、府内60歳以上の高齢者からなる選手団をねんりんピックに派遣し、また、その選手及び作品の選考会の開催を行うとともに、ねんりんピックの普及・啓発を行います。	・選手派遣数 H30 108人 R1 140人 R2 -（新型コロナの影響により一部延期）		介護支援課

<p>【施策4】 ・国が策定する、高齢者が楽しく継続的に取り組むことができ、生活習慣病の予防・改善や介護予防を通じての健康寿命の延伸に効果的な「スポーツプログラム」の普及・啓発を進めます。</p>	<p>・健康格差解決プログラム促進事業（フレイル） H30 23,667千円 R1 24,062千円 R2 13,019千円</p>	<p>・高齢期のフレイル予防のため、国立健康・栄養研究所と連携し、フレイルの測定や啓発を通じて、若者・働く世代向け運動・栄養プログラムを開発する。</p>	<p>・フレイルの測定会 H30 4回（計約800人） ・フレイルの研修会（対象：保健事業者） R2 2回（計約200人） ・フレイルの啓発（対象：府民） R1 3回（計約960人） R2 1回（約200人） [見込]</p>	<p>「大阪府働く世代からのフレイル予防プログラム」の府内市町村への横展開</p>	<p>健康づくり課</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------	---------------

(2)障がい者スポーツの推進

障がいのある人にもない人にも、様々な分野で活躍できる無限の可能性があり。障がいのあるアスリートの活躍により、障がい者スポーツへの注目度や機運が今までになく高まっていることを好機として、府立障がい者交流促進センター（ファインプラザ大阪）を障がい者スポーツの拠点として、障がい者スポーツを「する」「みる」「ささえる」という観点から、大阪府障がい者スポーツ大会の開催のほか、障がい者スポーツ指導員の養成、関係団体との連携等を進めます。

主な施策の方向性	事業名 予算	概要	成果	課題	担当課
【施策1】 ・府立障がい者交流促進センター（ファインプラザ大阪）や府立稲スポーツセンターを運営します。	・障がい者交流促進センター運営費 H30 225,267千円 R1 226,165千円 R2 230,483千円 ・稲スポーツセンター運営費 H30 45,371千円 R1 46,077千円 R2 44,014千円	・広域的・専門的な立場から、府立障がい者交流促進センター（ファインプラザ大阪）や府立稲スポーツセンターを運営し、今後の障がい者スポーツを牽引していく選手の養成や、障がい者スポーツの支援や振興を担う人材の養成・派遣を行うなど、競技力の向上と裾野拡大を図ります。	・施策2～4に詳細を記載		自立支援課
【施策2】 ・障がい者のスポーツ参加や競技スポーツとしての障がい者スポーツの促進のため、大阪府障がい者スポーツ大会を開催するほか、全国障害者スポーツ大会への選手団派遣を行います。また、これらの大会に向けた強化練習等を支援します。	・大阪府障がい者スポーツ大会開催事業 H30 225,267千円の内数 R1 226,165千円の内数 R2 230,483千円の内数 ・全国障がい者スポーツ大会派遣 H30 225,267千円の内数 R1 226,165千円の内数 R2 230,483千円の内数	・障がい者スポーツの競技性や障がい者一人ひとりの競技力の向上と裾野拡大を図るため、競技スポーツの祭典である大阪府障がい者スポーツ大会を開催するほか、大阪府障がい者スポーツ大会の成績優秀者等について、強化練習等の支援を行うとともに、全国障がい者スポーツ大会に大阪府選手団として派遣します。 ・上記大会以外の各種競技会との連携や参加者支援等を行います。	H30 889名 R1 975名 R2 新型コロナの影響により中止 ・全国障害者スポーツ大会に向けた強化練習 H30 合計34回 のべ697名参加 （個人競技6競技 団体競技2競技） R1 合計35回 のべ708名参加 （個人競技6競技 団体競技1競技） R2 新型コロナの影響により中止 ・全国障害者スポーツ大会 H30 選手96名等を派遣 R1 台風のため大会中止 R2 新型コロナの影響により中止 ・各種競技会との連携・支援 H30 22大会・競技会 R1 24大会・競技会と連携・支援 R2 新型コロナの影響により中止	大阪府障がい者スポーツ大会の活性化	自立支援課

主な施策の方向性	事業名 予算	概要	成果	課題	担当課
<p>【施策3】</p> <p>・府立支援学校のほか、障がい者スポーツに関わる様々な団体や地域の障がい福祉サービス事業所等との連携やこれらへの支援を行うことにより、「いつでも」「どこでも」「気軽に」障がい者がスポーツをしやすい環境づくりを進めます。</p>	<p>【再掲】</p> <p>・障がい者交流促進センター運営費</p> <p>H30 225,267千円の内数</p> <p>R1 226,165千円の内数</p> <p>R2 230,483千円の内数</p>	<p>・府立障がい者交流促進センター（ファインプラザ大阪）の府における障がい者スポーツ（特に競技スポーツ）の広域的中核拠点機能を活用し、府立支援学校や、障がい者スポーツに関わるさまざまなスポーツ団体や地域の障がい福祉サービス事業所等との連携・支援のほか、広域的な大会の開催・支援など、競技性の向上に資するプログラムを実施します。また、障がい者が地域でスポーツ活動により多く取り組めるよう、身近な地域における活動機会や場所の情報提供の充実に努めます。</p>	<p>H30～</p> <p>・「大阪府障がい者スポーツ推進会議」設置・開催等</p>	<p>「大阪府障がい者スポーツ推進会議」等を通して、関係部局等と連携した障がい者スポーツの充実を図る</p>	<p>自立支援課</p>
<p>【施策4】</p> <p>・障がい者スポーツの支援や振興を担う人材の育成を行います。</p>	<p>【再掲】</p> <p>・障がい者交流促進センター運営費</p> <p>H30 225,267千円の内数</p> <p>R1 226,165千円の内数</p> <p>R2 230,483千円の内数</p>	<p>・障がい者スポーツの支援や振興を図るため、中級障がい者スポーツ指導員などの人材を養成し、府立支援学校や障がい者スポーツに関わるさまざまなスポーツ団体などへ派遣します。</p>	<p>・中級障害者スポーツ指導員養成講習会</p> <p>H30 20名養成(合計308名)</p> <p>R1 31名養成(合計310名)</p> <p>R2 新型コロナの影響により中止</p>	<p>中級障がい者スポーツ指導員などの府立支援学校や障がい者スポーツに関わるさまざまなスポーツ団体などへの派遣機能の充実</p>	<p>自立支援課</p>
<p>【施策5】</p> <p>・企業やトップアスリート等と連携した障がい者スポーツの普及啓発や、より多くの府民が障がい者スポーツを「ささえる」仕組みづくりを進めます。</p>	<p>【再掲】</p> <p>・障がい者交流促進センター運営費</p> <p>H30 225,267千円の内数</p> <p>R1 226,165千円の内数</p> <p>R2 230,483千円の内数</p>	<p>・大阪府障がい者スポーツ大会など障がい者スポーツのPRを大阪府障がい者スポーツ応援団長を活用して行うほか、これら大会等の観戦やパラリンピアン等のトップ障がい者アスリートの招聘等、スポーツに親しむ機会の提供に努めます。また、障がい者が地域でスポーツ活動により多く取り組めるよう、身近な地域における活動機会や場所の情報提供の充実に努めます。</p>	<p>H30～</p> <p>・大阪府障がい者スポーツ応援団長SNS等</p>		<p>自立支援課</p>
<p>【施策6】</p> <p>・府立支援学校における運動部活動等スポーツ活動の普及・推進を図り、障がいのある幼児・児童・生徒の健全な発達と社会参加の推進に寄与するための施策を検討・実施するとともに情報発信を行います。</p>	<p>支援学校スポーツ推進部会 (大阪府障がい者スポーツ推進会議部会)</p> <p>R1 0千円</p> <p>R2 0千円</p> <p>大阪府立支援学校スポーツ推進会議</p> <p>R1 0千円 (H30より、大阪府障がい者スポーツ推進会議(自立支援課)の部会として位置付け。)</p> <p>R2 0千円</p>	<p>・支援教育課、保健体育課、自立支援課、各障がい種を代表する府立支援学校校長及び部活動担当教員の参加により、府立支援学校における運動部活動等スポーツ活動の普及推進について協議します。</p>	<p>R1</p> <p>・年間2回の会議の実施(7月22日、1月22日実施)</p> <p>・令和元年度府立支援学校の障がい種別における部活動等実施の現状と課題の把握</p> <p>・肢体不自由支援学校においてポッチャに取り組んでいる4校のうち3校が第4回全国ポッチャ選抜甲子園に3校が参加。</p> <p>R2</p> <p>・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から書面による会議の実施予定</p> <p>・府立支援学校の障がい種別における部活動等実施の現状と課題の把握</p> <p>・肢体不自由支援学校においてポッチャに取り組んでいる4校のうち3校が第5回全国ポッチャ選抜甲子園に参加。</p>	<p>・支援学校では、通学バスを利用している生徒が多く、部活動に参加するためには、自主通学や保護者等の迎えが条件となること。</p> <p>・大会への参加や休日の練習にともなう教職員への負担や出張旅費の負担。</p> <p>・全国大会等の出場時の選手の費用や、スポーツ活動推進のために必要な費用の予算措置。</p>	<p>支援教育課</p>

(3)スポーツに携わる多様な人材と場の充実

府民がそれぞれのニーズに応じて日常的にスポーツ活動を行うには、スポーツ活動を様々な面においてサポートしてくれる人と、身近にスポーツができる場があることが重要です。地域のスポーツクラブ等の活動を促進するとともに、一人でも多くの方がスポーツに携わるようにし、「スポーツ参画人口」の拡大を図ります。

主な施策の方向性	事業名 予算	概要	成果	課題	担当課
【施策1】 ・スポーツ団体と連携し、専門知識を有するスポーツ指導者の育成を進めます。	—	大阪府スポーツ協会主催で、スポーツ指導者等に対して、研修を実施している。 ・大阪府スポーツ・医科学セミナー H30 330千円 R1 355千円 ・競技力向上セミナー H30 570千円 R1 345千円	・大阪スポーツ医・科学セミナー H30年度 平成31年2月23日開催 参加者 239名 R1年度 令和2年2月22日開催 参加者 244名 ・競技力向上セミナー H30年度 平成30年6月10日開催 参加者 253名 R1年度 令和元年6月15日開催 参加者 219名 R2年度 新型コロナの影響により延期		スポーツ振興課
【施策2】 ・産学官の連携により、スポーツを「ささえる」人材(研究者、ドクター、クラブマネジャー等)の育成を推進します。	・スポーツボランティア養成及び派遣事業 H30 645千円 R1 653千円 R2 653千円	・スポーツを支えるボランティアの資質向上と新たな人材の育成を目的とした研修会の実施、府内スポーツイベントへのボランティア派遣を行っている。	・H30年度 33事業 740名 派遣 オリンピック組織委員会から講師を招き、ボランティア研修会を実施 ・R1年度 17事業 420名 派遣 会員の高齢化から『いつまでも自分の脚でしっかり歩くための「簡単筋力体操」』を実施 ・R2年度 新型コロナの影響により派遣予定だったスポーツイベントが中止となったため、12月までは派遣実績なし、1月に1回派遣	・会員の高齢化とボランティアの資質向上	スポーツ振興課
【施策3】 ・市町村、スポーツ団体等と連携し、国際大会、大規模スポーツイベント等に関わることを通して府民にスポーツボランティアの精神を普及・定着させ、登録ボランティア組織等の拡大、活用を推進します。	【再掲】 ・スポーツボランティア養成及び派遣事業 H30 645千円 R1 653千円 R2 653千円	【再掲】 ・スポーツを支えるボランティアの資質向上と新たな人材の育成を目的とした研修会の実施、府内スポーツイベントへのボランティア派遣を行っている。	【再掲】 ・H30年度 33事業 740名 派遣 オリンピック組織委員会から講師を招き、ボランティア研修会を実施 ・R1年度 17事業 420名 派遣 会員の高齢化から『いつまでも自分の脚でしっかり歩くための「簡単筋力体操」』を実施 ・R2年度 新型コロナの影響により派遣予定だったスポーツイベントが中止となったため、12月までは派遣実績なし、1月に1回派遣	【再掲】 ・会員の高齢化とボランティアの資質向上	スポーツ振興課

主な施策の方向性	事業名 予算	概要	成果	課題	担当課
【施策3】 ・市町村、スポーツ団体等と連携し、国際大会、大規模スポーツイベント等に関わることを通じて府民にスポーツボランティアの精神を普及・定着させ、登録ボランティア組織等の拡大、活用を推進します。	・オリンピック・パラリンピック組織委員会ボランティア協力業務 H30 0千円 R1 0千円 R2 0千円	・オリンピック・パラリンピック組織委員会がボランティア面接（大阪会場）を選定するための施設の情報提供、視察同行等、及び面接当日の面接官の職員派遣の協力。 ・ボランティア研修（大阪会場）を選定するための施設の情報の提供 【終了】	H30年度 ・施設視察同行①吹田市メイシアター②大阪市立社会福祉センター③大阪社会福祉指導センター④大阪府谷町福祉センター、「吹田市メイシアター」に面接会場決定 ・6月に発生した「北部地震」により吹田市メイシアターが一部損壊、改修工事のため面接会場見合わせ ・「大阪社会福祉指導センター」に面接会場変更 R1年度 ・6月18日：ボランティア面談員研修の会場、備品の提供 ・7月12日、13日：ボランティア面接官の職員各日2名派遣	—	スポーツ振興課
【施策4】 ・市町村が委嘱するスポーツ推進委員の資質向上のための研修を充実し、地域でのスポーツ振興を「ささえる」人材の育成を支援します。	・予算なし	・地域でスポーツ振興に携わるスポーツ推進委員の資質向上のため、リーダー養成講習会の伝達講習、事例発表、シンポジウムなどの研修を行います。 ・府内全てのスポーツ推進委員から選出された評議員、理事からなる理事会、評議員会を運営し、本府のスポーツ推進を図る。	・9月14日に令和元年度大阪スポーツ推進委員研修会を実施 研修参加者数 H30 450人 R1 487人 R2 新型コロナの影響で中止 (初任者研修はオンラインで1月30日に実施予定)	・スポーツ推進委員の認知度を上げる工夫が必要	保健体育課
【施策5】 ・障がい者スポーツの支援や振興を担う人材の育成を行います。	・障がい者交流促進センター H30 225,267千円 R1 226,165千円 R2 230,483千円	・障がい者スポーツの支援や振興を図るため、中級障がい者スポーツ指導員などの人材を養成し、府立支援学校や障がい者スポーツに関わるさまざまなスポーツ団体などへ派遣します。	【再掲】 ・中級障害者スポーツ指導員養成講習会 H30 20名養成(合計308名) R1 31名養成(合計310名) R2 新型コロナの影響により中止	・中級障がい者スポーツ指導員などの府立支援学校や障がい者スポーツに関わるさまざまなスポーツ団体などへの派遣機能の充実	自立支援課
【施策6】 ・地域スポーツの担い手としての総合型地域スポーツクラブの活動を支援するとともに、クラブ間ネットワークと連携・協働して総合型地域スポーツクラブの自立的な運営の促進に向けた支援を担う都道府県レベルの組織を、国、スポーツ団体等と連携して整備します。	【再掲】 総合型地域スポーツクラブ活動促進事業 H30 0千円 R1 0千円 R2 0千円	クラブのネットワークづくり等の支援を行うとともに、クラブに対し、指導助言や連絡調整などの側面的な支援を行う。また、大阪府スポーツ協会や大阪SCねっとと連携を密にしておく。	・総合型地域スポーツクラブ クラブフェスタの開催協力 ネットワーク会議の開催協力	・広域自治体としての総合型地域スポーツクラブへのかかわり方	スポーツ振興課
【施策7】 ・廃校舎、空き教室等の活用等、地域のスポーツクラブの活動場所の拡充を促進します。	【再掲】 総合型地域スポーツクラブ活動促進事業 H30 0千円 R1 0千円 R2 0千円	・大阪府スポーツ協会や大阪SCねっとと連携を密にしておくとともに、クラブ訪問などを通じて、地域の課題やクラブの運営状況を確認し、指導助言や連絡調整などの側面的な支援を行う。	・総合型地域スポーツクラブ巡回指導 H30 6回 R1 16回 岸和田市・高槻市・摂津市・・・クラブ訪問指導 富田林市・豊中市・摂津市・・・市町村所管課訪問 交野市・四條畷市・・・クラブ設置前市役所訪問指導 R2 新型コロナウィルスの影響により未実施	【再掲】 ・広域自治体としての総合型地域スポーツクラブへのかかわり方	スポーツ振興課

主な施策の方向性	事業名 予算	概要	成果	課題	担当課
<p>【施策 8】</p> <p>・民間のスポーツクラブや種目ごとの地域のクラブが身近なスポーツ活動の場として一層活用されるよう、検討を進めます。</p>	<p>【再掲】</p> <p>総合型地域スポーツクラブ活動促進事業</p> <p>H30 0千円</p> <p>R1 0千円</p> <p>R2 0千円</p>	<p>【再掲】</p> <p>・大阪府スポーツ協会や大阪SCねっとと連携を密にしておくとともに、クラブ訪問などを通じて、地域の課題やクラブの運営状況を確認し、指導助言や連絡調整などの側面的な支援を行う。</p>	<p>【再掲】</p> <p>・ネットワーク会議開催協力</p>	<p>【再掲】</p> <p>・広域自治体としての総合型地域スポーツクラブへのかかわり方</p>	<p>スポーツ振興課</p>
<p>【施策 9】</p> <p>・新しいジャンルのスポーツ(スポーツクライミング、スケートボード、BMX(バイシクルモトクロス)、ポッチャ等)を身近で楽しめる場づくりを促進します。</p>	<p>【再掲】</p> <p>・ワールドマスターズゲームズ2021関西 大阪府実行委員会負担金</p> <p>R1 10千円</p> <p>R2 10千円</p>	<p>【再掲】</p> <p>・ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催準備</p> <p>・大会の認知度向上、機運の醸成を図るとともに、平成33年5月の開催に向けた準備を府内開催3市(岸和田市、東大阪市、泉南市)と連携しながら進めます。</p>	<p>【再掲】</p> <p>・競技別実施要項の完成(競技日程・競技会場の公表)</p> <p>・イベント等でのPR H30 90回</p> <p>R1 60回</p> <p>R2 新型コロナウイルスの影響により中止</p> <p>・府民認知度 H30 22.5%</p> <p>R1 20.6%</p> <p>R2 (1月末調査実施)</p> <p>・H30 決起大会(1000日前)の実施(組織委員会・府・政令市と連携した協働イベント)</p> <p>・R1 2年前イベントの実施(5月26日) 決起大会の実施(11月19日)</p> <p>・R2 新型コロナウイルスの影響により中止</p>	<p>【再掲】</p> <p>・各媒体やHPを活用して広報の強化を図る必要がある。</p>	<p>スポーツ振興課</p>
<p>【施策 10】</p> <p>・大学、企業等がその有する施設、人材等を活用して地域貢献、協賛、協力を行うことができる環境の整備を進めます。</p>	<p>【再掲】</p> <p>・府民スポーツ・レクリエーション事業(キッズスポーツ体験会)</p> <p>・ワールドマスターズゲームズ2021関西 大阪府実行委員会</p>	<p>・キッズスポーツ体験会やワールドマスターズゲームズ2021関西大阪開催競技において、大学と連携し、学生ボランティアに参加協力を行う。</p>	<p>R1 キッズスポーツ体験会における大学生ボランティアの協力(大阪体育大学) 16名</p> <p>R2 新型コロナの影響により中止</p>	<p>・大学へのボランティア派遣依頼の拡大・充実を図っていく必要がある。</p> <p>・ワールドマスターズゲームズ2021関西大阪開催競技においても大学等に協力を依頼し、大学と連携して未来のスポーツを支える人材を育成していく。</p>	<p>スポーツ振興課</p>

(4)スポーツを通じた健康増進

スポーツは今日、人が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠のものです。

スポーツを楽しみながら適切に継続し、生活習慣病の予防・改善や介護予防を通じて健康寿命を延伸できれば、高齢者のQOL（Quality of Life 生活の質）の低下を防ぐことができるとともに、医療費や介護給付費等の社会保障負担の軽減も期待できます。

府民が身近にスポーツ活動ができる環境を整え、スポーツを通じた健康増進により、健康長寿社会の実現をめざします。

主な施策の方向性	事業名 予算	概要	成果	課題	担当課
【施策1】 ・府民が運動しやすい環境を整備するため、身近なコミュニティにおける気軽なスポーツ実践の場を拡充させます。	【再掲】 総合型地域スポーツクラブ活動促進事業 H30 0千円 R1 0千円 R2 0千円	【再掲】 ・大阪府スポーツ協会や大阪SCねっとと連携を密にしておくとともに、クラブ訪問などを通じて、地域の課題やクラブの運営状況を確認し、指導助言や連絡調整などの側面的な支援を行う。	【再掲】 ・総合型地域スポーツクラブ巡回指導 H30 6回 R1 16回 岸和田市・高槻市・摂津市・・・クラブ訪問指導 富田林市・豊中市・摂津市・・・市町村所管課訪問 交野市・四條畷市・・・クラブ設置前市役所訪問指導 R2 新型コロナウイルスの影響により未実施	【再掲】 ・広域自治体としての総合型地域スポーツクラブへのかかわり方	スポーツ振興課
【施策2】 ・国が策定する、高齢者が楽しく継続的に取り組むことができ、生活習慣病の予防・改善や介護予防を通じての健康寿命の延伸に効果的な「スポーツプログラム」の普及・啓発を進めます。	・健康格差解決プログラム促進事業（フレイル） H30 23,667千円 R1 24,062千円 R2 13,019千円	・高齢期のフレイル予防のため、国立健康・栄養研究所と連携し、フレイルの測定や啓発を通じて、若者・働く世代向け運動・栄養プログラムを開発する。	・フレイルの測定会 H30 4回（計約800人） ・フレイルの研修会（対象：保健事業者） R2 2回（計約200人） ・フレイルの啓発（対象：府民） R1 3回（計約960人） R2 1回（約200人）【見込】	「大阪府働く世代からのフレイル予防プログラム」の府内市町村への横展開	健康づくり課
【施策3】 ・市町村、企業、大学、関係団体等と連携し、誰もが気軽に参加できる健康増進のためのイベント、スポーツ教室等を開催し、身体活動量の増加を図ります。	【再掲】 ・府民スポーツ・レクリエーション事業（スポーツ体験会） H30 分担金 6,096千円 R1 分担金 6,016千円 R2 分担金 5,000千円	【再掲】 ・スポーツ実施率の低い20～40代の働き盛り・子育て世代を主な対象者とし、専門家の指導を受けながら、ジョギングやヨガなど気軽に取り組める運動を体験することで、日常的にスポーツに取り組むきっかけを提供します。	【再掲】 ・参加者数 H30 1回実施 約200人 R1 8回実施 約4,600人 R2 新型コロナウイルスの影響により未実施	【再掲】 ・スポーツに関する気づきの場にはなっているが、体験後にそのスポーツを継続して実施してもらえているか不明。 ・スポーツ協会やスポーツ団体と協力・連携し、今後活動できる場を紹介するなどの啓発活動を行っていく。	スポーツ振興課

主な施策の方向性	事業名 予算	概要	成果	課題	担当課
<p>【施策3】</p> <p>・市町村、企業、大学、関係団体等と連携し、誰もが気軽に参加できる健康増進のためのイベント、スポーツ教室等を開催し、身体活動量の増加を図ります。</p>	<p>・女性の健康づくり推進事業（健活セミナー事業）</p> <p>H30 2,274千円</p> <p>R1 2,330千円</p> <p>R2 2,330千円</p> <p>・公民連携事業</p> <p>予算なし</p>	<p>・民間企業等と連携し、働く女性向けの健康セミナー（食生活・運動等）を開催します。</p> <p>・公民連携を通じて、健康増進イベントを実施します。</p>	<p>H30</p> <p>5回開催 参加者：849名</p> <p>テーマ：「スポーツ栄養学に基づく食事と運動習慣」等</p> <p>R1</p> <p>5回開催 参加者：665名</p> <p>テーマ：「今すぐ身につけたい！健康的な運動と食事」等</p> <p>R2</p> <p>新型コロナの影響により中止</p>	<p>コロナ禍での取組み</p>	<p>健康づくり課</p>
<p>【施策4】</p> <p>・企業、大学等と連携し、府民に最新のスポーツ健康科学の知見を分かりやすく情報提供する等の取組を進めます。</p>	<p>・プロスポーツチームとの連携による魅力発信事業</p> <p>H30 0千円</p> <p>H31 0千円</p> <p>R2 0千円</p>	<p>・スポーツを観光・都市魅力のコンテンツとして発信し、観光振興を図ることを目的に、大阪にゆかりが深く全国で活躍するトッププロチームと連携した取組を実施。</p>	<p>R2 コロナ禍で外出自粛が続く中、健康促進として「近鉄ライナーズ」が考案した「Liners体操」に選手ともずやんがチャレンジした動画をウェブ上で掲載。</p>	<p>トップスポーツチームと連携した情報発信に加え、今後大阪商工会議所との連携した取組み等を実施していく</p>	<p>スポーツ振興課</p>

II スポーツの振興による都市魅力の創造

(1)国際的、大規模なスポーツ大会等の誘致、開催

国際的、大規模なスポーツ大会やイベントは、府民のスポーツへの関心を高め、夢や感動を与えてくれるとともに、国内外から人々が集い、まちに賑わいをもたらします。特に、ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、ワールドマスターズゲームズ2021関西が連続して開催される「ゴールデンスポーツイヤーズ」は、大阪の都市魅力を発信する絶好の機会です。

市町村、スポーツ団体、企業等と連携しながら、これらの大会の成功に向け取り組むとともに、国際大会や全国大会、「みる」だけでなく「する」「ささえる」等様々な形で参加できる大規模スポーツイベントを誘致、開催します。

主な施策の方向性	事業名 予算	概要	成果	課題	担当課
<p>【施策1】</p> <p>・ラグビーワールドカップ2019では、東大阪市花園ラグビー場が全国12会場の一つとなります。共同開催都市である東大阪市とともに関係機関・団体等と連携し、「オール大阪」で大会成功に向けた取組を進めます。</p>	<p>・ラグビーワールドカップ2019開催準備事業</p> <p>H30 201,360千円 R1 1,037,631千円 R2 0千円</p>	<p>・本年9月開幕のラグビーワールドカップ2019日本大会の会場のひとつ、東大阪市花園ラグビー場で開催される4試合において、共同開催都市である東大阪市やラグビーワールドカップ2019組織委員会と連携し、安全・確実な大会運営を行う。</p> <p>・府域全体で大会を盛り上げ、来阪者をもてなすとともに、積極的に大阪の魅力を国内外に発信する。</p> <p>【2019年 事業終了】</p>	<p>・ラグビートップリーグの試合会場等でのプロモーション活動の実施（R1年度13回）</p> <p>・開幕100日前イベント&トロフィーツアー開催（6/15）</p> <p>・都市装飾の展開 主要駅・空港での吊り下げバナー、壁面シート設置等 街灯バナー設置（御堂筋、花園中央公園等）、大型ラグビーボールオブジェ設置（大川「川の駅はちけんや」）、電車車両ラッピング（近鉄、JR西日本）、TV特別番組放映、街頭ビジョン、映画館でのCM動画の放映、テレビCMの放映・ラジオCMの放送、近鉄主要駅での構内CM放送</p> <p>・試合当日の会場周辺の交通規制やシャトルバスの運行等の情報発信及び的確なシャトルバス運行。（9/22、9/28、10/3、10/13）</p> <p>・ファンゾーンにて大会情報や大阪の魅力等を発信。（9/20、9/21、9/22 会場：東大阪市花園中央公園野球場 9,818人入場）（9/21、9/22、9/28、10/3、10/5、10/13 会場：大阪天王寺公園エントランスエリア「てんしば」28,883人入場）</p> <p>・日本代表の初の決勝トーナメント進出を受け、準々決勝日本代表戦のバブルクビューイングを実施。（10/20 会場：東大阪市花園ラグビー場 12,000人入場）</p>	-	スポーツ振興課
<p>【施策2】</p> <p>・市町村、関係団体等と連携し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプ誘致に取り組めます。</p>	<p>・オリ・パラ等キャンプ地等誘致事業</p> <p>H30 200千円 R1 188千円 R2 192千円</p>	<p>・広域自治体として、府内域の優れた競技施設等を取りまとめた広報ツールにより、市町村が誘致意向を示す競技に係る団体や在関西総領事館等を対象に向け情報発信を行うことで、府内市町村の取組みを支援する。</p>	<p>H30年度</p> <p>・市町村の誘致活動の支援件数 5件</p> <p>R1年度</p> <p>・市町村の誘致活動の支援件数 6件</p> <p>R2年度</p> <p>・市町村の事前キャンプ・ホストタウン受入れに係るコナ対策等を支援（関係機関との調整等）</p>	<p>・キャンプ誘致主体である府内市町村の意思や動向を把握し、競技団体とも連携しながら、迅速かつ的確に支援することが必要</p>	スポーツ振興課

主な施策の方向性	事業名 予算	概要	成果	課題	担当課
<p>【施策3】</p> <p>・ワールドマスターズゲームズ2021関西では、府内では堺市でサッカー・フットサル、岸和田市で自転車(BMX)、東大阪市でラグビーフットボール、泉南市で水泳(オープンウォーター)の競技が行われ、大崎市では閉会式が開催されます。</p> <p>地元市、関係機関・団体等と連携し、円滑な実施に取り組みます。</p>	<p>【再掲】</p> <p>・ワールドマスターズゲームズ2021関西 大阪府実行委員会負担金 R1 10千円 R2 10千円</p>	<p>【再掲】</p> <p>・ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催準備</p> <p>・大会の認知度向上、機運の醸成を図るとともに、平成33年5月の開催に向けた準備を府内開催3市(岸和田市、東大阪市、泉南市)と連携しながら進めます。</p>	<p>【再掲】</p> <p>・競技別実施要項の完成(競技日程・競技会場の公表)</p> <p>・イベント等でのPR H30 90回 R1 60回 R2 コロナの影響により中止</p> <p>・府民認知度 H30 22.5% R1 20.6% R2 (1月末調査実施)</p> <p>・H30 決起大会(1000日前)の実施(組織委員会・府・政令市と連携した協働イベント)</p> <p>・R1 2年前イベントの実施(5月26日)決起大会の実施(11月19日)</p> <p>・R2 コロナの影響により中止</p>	<p>【再掲】</p> <p>・各媒体やHPを活用して広報の強化を図る必要がある。</p>	<p>スポーツ振興課</p>
<p>【施策4】</p> <p>・これらの大会への府民の関心を高め、機運醸成を図るためのイベント等を開催する等、広報啓発を推進します。</p>	<p>【再掲】</p> <p>・大阪スポーツ王国事業(トップアスリート小学校ふれあい事業) H30 0千円 R1 0千円 R2 0千円</p>	<p>【再掲】</p> <p>・府内小学校の授業に、トップ選手・指導者等を派遣し、児童との対話や技術紹介等の直接的なふれあいにより、小学生がスポーツのすばらしさや感動を共有できること、また夢や希望を与え、運動・スポーツに親しむ態度や習慣を身に付けます。</p>	<p>・実施学校数 H30 137校 R1 90校 R2 45校</p> <p>・参加児童数 H30 11,685名 R1 6,715名 R2 3,085名 新型コロナウイルスの影響で一部中止</p>	<p>【再掲】</p> <p>・実施校がチーム事情により大阪市内付近に集中し、府全域の広がりに欠ける。協力チームと種目の拡充及び派遣小学校数の拡大を図る。</p> <p>・H30より大阪府ダブルダッチ協会、FC大阪参画。</p> <p>・H31より日本ペイントマレット、日本生命レッドエルフ参画。</p> <p>・全チームとも報酬なしで協力いただいている。</p>	<p>スポーツ振興課</p>
<p>【施策5】</p> <p>・大阪のまちや人の魅力を発信し、世界トップレベルの市民マラソンとなるよう、大阪マラソンのさらなる進化・発展に取り組みます。</p>	<p>・大阪マラソン開催費 H30 115,000千円 R1 90,000千円 R2 90,000千円</p>	<p>大阪マラソンは3万5千人のランナーが、大阪の誇る名所をかけぬけるスポーツの一大イベントである。令和元年度の第9回大会から、大阪城公園をフィニッシュ地点とし、造幣局、あべのハルカス、四天王寺など新たな大阪の名所を巡るコースに変更、令和2年度の大会から、定員を3万5千人に拡大し、さらに大阪の元気や都市魅力を国内外に発信、「世界一の市民マラソン」を目指す。</p>	<p>H30年度実績</p> <p>ランナーエントリー総数 127,757人 うち国外 15,005人</p> <p>ボランティア 10,010人 観衆 1,300,000人</p> <p>R1年度実績</p> <p>ランナーエントリー総数 131,337人 うち国外 15,082人</p> <p>ボランティア 9,434人 観衆 1,330,000人</p> <p>R2年度実績 新型コロナウイルスの影響により中止</p>	<p>・大会の国際化を推進するために海外(特に欧米オセアニア)のエントリー獲得や大阪の都市魅力を国内外に発信する取組みを図る。</p> <p>・地元やボランティアによる更なるホスピタリティの向上や充実を図る</p>	<p>スポーツ振興課</p>

主な施策の方向性	事業名 予算	概要	成果	課題	担当課
<p>【施策6】 ・市町村、スポーツ団体等と連携し、人気の高いスポーツ競技大会を誘致、開催し、府民にトップアスリートのパフォーマンスを見る機会を提供します。</p>	<p>・大阪スポーツ王国事業 (観戦優待事業) H30 0千円 R1 0千円 R2 0千円</p>	<p>・スポーツの持つ素晴らしさをスポーツ観戦を通じて、府民に伝え、誰もがそれぞれの興味・関心に応じてスポーツを楽しむことができる機会を提供する。</p>	<p>H30年度実績 ・第1弾 応募件数 322件 応募者数 974名 ・第2弾 応募件数 152件 応募者数 426名 R1年度実績 ・第1弾 応募件数 507件 応募者数 1,533名 ・第2弾 応募件数 154件 応募者数 425名 R2年度実績 新型コロナウイルスの影響により中止</p>	<p>・効率的・効果的な広報活動を展開し、より多くの人人々への観戦機会の提供を図ることを目的に、HPの活用・ポスター、チラシの配架場所を具体的に検討する</p>	<p>スポーツ振興課</p>

(2)ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズの開催を契機としたレガシーの形成

ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、ワールドマスターズゲームズ2021関西を一過性のイベントとせず、これらの大会を契機に一層高まる府民の「みる」スポーツへの興味・関心を「する」「ささえる」スポーツへと移行させるとともに、これらの大会がもたらす成果を未来につなぎ、さらに発展させる取組を進めます。

主な施策の方向性	事業名 予算	概要	成果	課題	担当課
<p>【施策1】</p> <p>・スポーツの意義や価値、フェアプレイの精神、スポーツマンシップ等を次代を担う子どもたちに伝え理解を深めるオリンピック・パラリンピック教育を推進します。</p>	<p>【再掲】</p> <p>・オリンピック・パラリンピアン派遣事業</p> <p>H30 920千円 H31 928千円 R2 926千円</p>	<p>【再掲】</p> <p>オリンピック・パラリンピック出場経験者による実技や講話を通じてオリンピック・パラリンピックに対する理解増進や機運醸成を図る。</p>	<p>【再掲】</p> <p>・実施学校数・参加児童数</p> <p>H30 6校 604名 R1 7校 546名（小学校、支援学校へ派遣） 府内イベント 2回 70名 R2 7校 384名（小学校、支援学校へ派遣）</p>	<p>【再掲】</p> <p>・予算が限られているため、効果的に府内全市町村へ展開していくことが必要。 ・地域や企業を巻き込んで、さらなる事業内容の充実を図ることが必要。 ・派遣していない市町村へ積極的に講師へ派遣依頼していくことが必要。</p>	スポーツ振興課
<p>【施策2】</p> <p>・産官学の連携により、スポーツを「ささえる」人材（指導者、研究者、ドクター、クラブマネジャー等）の育成を推進します。</p>	<p>【再掲】</p> <p>総合型地域スポーツクラブ活動促進事業</p> <p>H30 0千円 R1 0千円 R2 0千円</p>	<p>【再掲】</p> <p>・クラブのネットワークづくり等の支援を行うとともに、クラブに対し、指導助言や連絡調整などの側面的な支援を行う。また、大阪府スポーツ協会や大阪SCねっとと連携を密にしておく。</p>	<p>・総合型地域スポーツクラブ巡回指導</p> <p>H30 6回 R1 16回</p> <p>岸和田市・高槻市・摂津市・・・クラブ訪問指導 富田林市・豊中市・摂津市・・・市町村所管課訪問 交野市・四條畷市・・・クラブ設置前市役所訪問指導</p> <p>R2 新型コロナウイルスの影響により未実施</p>	<p>【再掲】</p> <p>・広域自治体としての総合型地域スポーツクラブへのかかわり方</p>	スポーツ振興課

主な施策の方向性	事業名 予算	概要	成果	課題	担当課
<p>【施策3】</p> <p>・市町村、スポーツ団体等と連携し、これらの大会に関わることを通して府民にスポーツボランティアの精神を普及・定着させ、登録ボランティア組織等の拡大、活用を推進します。</p>	<p>・ラグビーワールドカップ2019日本大会公式ボランティア募集に関する面接官等調整業務</p> <p>H30 0千円 R1 0千円 R2 0千円</p>	<p>・ラグビーワールドカップ2019組織委員会が実施する公式ボランティアについて、開催都市として、会場提供、面接官等で組織委員会と連携し取り組む。</p> <p>・公式ボランティアの活動について、観光やおもてなし、人権等に関して研修を行い、大会時に組織委員会と連携し、運営する。</p> <p>【2019年 事業終了】</p>	<p>・採用数：大阪・花園 約900人(全国約13,000人)</p> <p>・大会公式ボランティア研修</p> <p>リーダー研修 (R1.6月) 役割別研修 (R1.7月) 配置別研修 (R1.8～9月)</p> <p>・大会時の会場周辺、ファンゾーン等でのボランティア運営の実施</p>	<p>—</p>	<p>スポーツ振興課</p>
<p>【施策3】</p> <p>・市町村、スポーツ団体等と連携し、これらの大会に関わることを通して府民にスポーツボランティアの精神を普及・定着させ、登録ボランティア組織等の拡大、活用を推進します。</p>	<p>【再掲】</p> <p>・オリンピック・パラリンピック組織委員会ボランティア協力業務</p> <p>H30 0千円 R1 0千円 R2 0千円</p>	<p>【再掲】</p> <p>・オリンピック・パラリンピック組織委員会がボランティア面接（大阪会場）を選定するための施設の情報提供、視察同行等、及び面接当日の面接官の職員派遣の協力。</p> <p>・ボランティア研修（大阪会場）を選定するための施設の情報提供（終了）</p>	<p>【再掲】</p> <p>H30年度</p> <p>・施設視察同行①吹田市メイシアター②大阪市立社会福祉センター③大阪社会福祉指導センター④大阪府谷町福祉センター、「吹田市メイシアター」に面接会場決定</p> <p>・6月に発生した「北部地震」により吹田市メイシアターが一部損壊、改修工事のため面接会場見合わせ</p> <p>・「大阪社会福祉指導センター」に面接会場変更</p> <p>R1年度</p> <p>・6月18日：ボランティア面談員研修の会場、備品の提供</p> <p>・7月12日、13日：ボランティア面接官の職員各日2名派遣</p>	<p>【再掲】</p> <p>・今後、オリンピック・パラリンピック組織委員会の要請に応じて、ボランティア研修（大阪会場）を選定するための施設の情報を迅速に提供</p>	<p>スポーツ振興課</p>
<p>【施策4】</p> <p>・これらの大会の機運醸成事業やオリンピック・パラリンピック教育等を通じて、地域のスポーツクラブ、スポーツ少年団、支援学校運動部等のスポーツ組織の活性化を図ります。</p>	<p>【再掲】</p> <p>・オリンピック・パラリンピック派遣事業</p> <p>H30 920千円 H31 928千円 R2 926千円</p>	<p>【再掲】</p> <p>オリンピック・パラリンピック出場経験者による実技や講話を通じてオリンピック・パラリンピックに対する理解増進や機運醸成を図る。</p>	<p>【再掲】</p> <p>・実施学校数・参加児童数</p> <p>H30 6校 604名 R1 7校 546名（小学校、支援学校へ派遣） 府内イベント 2回 70名 R2 7校 384名（小学校、支援学校へ派遣）</p>	<p>【再掲】</p> <p>・地域や企業を巻き込んで、さらなる事業内容の充実を図ることが必要。</p> <p>・派遣していない市町村へ積極的に講師へ派遣依頼していくことが必要。</p>	<p>スポーツ振興課</p>

(3) トップアスリート等とふれあう機会の充実及び次世代アスリートの養成

トップアスリートとの触れ合いやハイレベルのパフォーマンスを見ることを通じて、府民にスポーツの持つ素晴らしさを伝えるとともに、スポーツに対する興味・関心、参加意欲をさらに高めます。
また、子どもたちがスポーツに夢や希望、憧れを抱き、興味・関心に応じて様々な種目を経験しながらトップアスリートをめざすことができる環境を創出し、次世代のアスリートの養成を図ります。

主な施策の方向性	事業名 予算	概要	成果	課題	担当課
【施策1】 ・プロスポーツチーム、スポーツ団体等の協力を得て、トップアスリートの小中学校への派遣やスポーツ教室の開催、トップチーム等のゲームの観戦優待等、トップアスリートと触れ合う機会を一層拡充します。	【再掲】 ・大阪スポーツ王国事業 (トップアスリート小中学校ふれあい事業) H30 0千円 R1 0千円 R2 0千円	【再掲】 ・府内小学校の授業に、トップ選手・指導者等を派遣し、児童との対話や技術紹介等の直接的なふれあいにより、小学生がスポーツのすばらしさや感動を共有できること、また夢や希望を与え、運動・スポーツに親しむ態度や習慣を身に付けます。	・実施学校数 H30 137校 R1 90校 R2 45校 ・参加児童数 H30 11,685名 R1 6,715名 R2 3,085名 新型コロナウイルスの影響で一部中止	【再掲】 ・実施校がチーム事情により大阪市内付近に集中し、府全域の広がり欠ける。協力チームと種目の拡充及び派遣小中学校数の拡大を図る。 ・H30より大阪府ダブルダッチ協会、FC大阪 ・H31より日本バインドマレット、日本生命レッドエルフ参画。 ・全チームとも報酬なしで協力いただいている。	スポーツ振興課
【施策2】 ・国際大会や全国規模のスポーツ競技会における成績優秀者やスポーツ振興への貢献者の顕彰事業を一層充実します。	・大阪スポーツ賞 H30 687千円 R1 687千円 R2 820千円	・大阪府のスポーツ振興に、特に顕著な功績のあった者(団体)及び、競技成績優秀者(団体)を表彰することで体育、スポーツの振興に寄与します。	・各競技団体等から推薦のあったものを選考 表彰者数 H30 個人369名 団体104団体 R1 個人446名 団体84団体 R2 個人357名 団体79団体 (表彰式は規模を縮小して実施)	・バリアフリーの配慮がなされた大規模な施設を探す必要あり。(R3は大東市サーティホールにて9月18日に実施予定)	保健体育課
【施策3】 ・大学、企業、スポーツ団体等と連携して、スポーツの普及、競技力の向上を図ります。	・公民連携事業	・スポーツイベントを開催する企業と協力し、広く府民にスポーツを始めるきっかけを提供する。	H30 スポーツイベントのリーフレットの配付協力 開催日に府政(スポーツ施策) PR R1 四條畷イオンモールにて、オリバラ・WMC機運醸成イベントの実施(11月) R2 「OSAKA元気スポーツ」イベントの実施及びポスターの掲示協力(新型コロナの影響により中止)	・広く府民にスポーツに興味関心を持ってもらえるよう、PRできる場が少ない。 ・公民連携デスクなど、府の関係機関等とも連携を図りながら、多くの企業などとPRできる場の確保に努めていく。	スポーツ振興課

主な施策の方向性	事業名 予算	概要	成果	課題	担当課
<p>【施策 3】</p> <p>・大学、企業、スポーツ団体等と連携して、スポーツの普及、競技力の向上を図ります。</p>	<p>【再掲】</p> <p>・府民スポーツ・レクリエーション事業</p> <p>H30 分担金 6,096千円</p> <p>R1 分担金 6,016千円</p> <p>R2 分担金 5,000千円</p>	<p>【再掲】</p> <p>・府民一人ひとりのスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、その活動を実践する場を提供するため、広くスポーツ関連団体等の協力を得て、府民スポーツ・レクリエーション事業を実施します。</p>	<p>【再掲】</p> <p>H30年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッズスポーツ体験会 377名 ・生涯現役スポーツ賞 金賞17名、銀賞47名、団体賞9団体 ・発表交流会 約7,000人 ・スポーツ体験会 1回実施 約200人 ・体力測定会 14会場 2,298人 <p>R1年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッズスポーツ体験会 236名（屋内種目のみ） ・生涯現役スポーツ賞 金賞20名、銀賞59名、団体賞13団体 ・発表交流会 約6,700人 ・スポーツ体験会 8回実施 約4,600人 ・体力測定会 13会場 4,600人 <p>R2年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッズスポーツ体験会・発表交流会 …新型コロナウイルスの影響により中止 ・生涯現役スポーツ賞…金賞22名、銀賞65名、団体賞14団体 ・スポーツ体験会…新型コロナウイルスの影響により未実施 ・体力測定会…1会場 71人（規模縮小） 	<p>【再掲】</p> <p>・スポーツの無関心層も含め、多様な属性の参加者が呼び込めるように実施する。（会場の検討、広報の工夫が必要）</p>	<p>スポーツ振興課</p>
<p>【施策 4】</p> <p>・国民体育大会等への選手・役員の派遣を支援します。</p>	<p>・国民体育大会派遣事業</p> <p>H30 54,323千円</p> <p>R1 60,087千円</p> <p>R2 65,383千円</p>	<p>・国民体育大会及び同近畿ブロック大会に派遣する選手に係る経費（宿泊費及び交通費）の助成を行います。</p>	<p>【国民体育大会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選手監督派遣数 H30 735名 R1 792名 R2 秋季鹿児島大会は延期。冬季大会は実施予定 <p>・補助額</p> <ul style="list-style-type: none"> H30 43,447千円 R1 51,004千円 R2 秋季鹿児島大会は延期。冬季大会は実施予定 <p>【近畿ブロック大会】（R2は秋季大会中止）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選手監督派遣数 H30 755名 R1 771名 R2 26名（アイスホッケーのみ） <p>・補助額</p> <ul style="list-style-type: none"> H30 3,169千円 R1 1,628千円 R2 60千円（アイスホッケーのみ） 	<p>・国民体育大会、近畿ブロック大会の派遣費は全額補助できていない。</p>	<p>保健体育課</p>

主な施策の方向性	事業名 予算	概要	成果	課題	担当課
<p>【施策5】</p> <p>・障がい者のスポーツ参加や競技スポーツとしての障がい者スポーツの促進のため、大阪府障がい者スポーツ大会を開催するほか、全国障害者スポーツ大会への選手団派遣を行います。また、これらの大会に向けた強化練習等を支援します。</p>	<p>・大阪府障がい者スポーツ大会開催事業 H30 225,267千円の内数 R1 226,165千円の内数 R2 230,483千円の内数</p> <p>・全国障がい者スポーツ大会派遣 H30 225,267千円の内数 R1 226,165千円の内数 R2 230,483千円の内数</p>	<p>・障がい者スポーツの競技性や障がい者一人ひとりの競技力の向上と裾野拡大を図るため、競技スポーツの祭典である大阪府障がい者スポーツ大会を開催するほか、大阪府障がい者スポーツ大会の成績優秀者等について、強化練習等の支援を行うとともに、全国障がい者スポーツ大会に大阪府選手団として派遣します。</p> <p>・上記大会以外の各種競技会との連携や参加者支援等を行います。</p>	<p>【再掲】</p> <p>・大阪府障がい者スポーツ大会参加者数 H30 889名 R1 975名 R2 新型コロナの影響により中止</p> <p>・全国障害者スポーツ大会に向けた強化練習 H30 合計34回 のべ697名参加 （個人競技6競技 団体競技2競技） R1 合計35回 のべ708名参加 （個人競技6競技 団体競技1競技） R2 新型コロナの影響により中止</p> <p>・全国障害者スポーツ大会 H30 選手96名等を派遣 R1 台風のため大会中止 R2 新型コロナの影響により中止</p> <p>・各種競技会との連携・支援 H30 22大会・競技会 R1 24大会・競技会と連携・支援 R2 新型コロナの影響により中止</p>	<p>・大阪府障がい者スポーツ大会の活性化</p>	<p>自立支援課</p>

(4)スポーツを通じた地域・経済の活性化

スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことにより、人と人との交流やつながりが生まれ、また、様々な消費活動がなされます。

大阪には、国際大会や大規模スポーツイベントが開催されるスタジアムやアリーナが整備されているほか、多くのトップスポーツチームやトップアスリートが存在します。また、スポーツ用品製造業等スポーツ産業の集積があり、高い技術や優れた製品を持つ中小企業も多数存在します。さらには、健康・医療の分野も大阪の強みの一つです。

これらの資源をより有効に活用するとともに、観光、文化、アミューズメント、健康等他分野との連携・協働等も含めた、スポーツビジネスの創出・拡大等の取組を支援し、地域・経済の活性化につなげます。

主な施策の方向性	事業名 予算	概要	成果	課題	担当課
【施策 1】 ・東京オリンピック・パラリンピック参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る。市町村のホストタウン登録や事前キャンプ誘致を支援します。	・ホストタウンの推進について R1 0千円 R2 0千円	・ホストタウン推進 東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運の醸成や国際交流、府民のスポーツへの関心や世界的な知名度の向上を図るため、府内市町村の取組みを支援する。	R1年度 新規登録：守口市(ガンビア) 新規登録：大東市(コロンビア) 新規登録：和泉市(セネガル) 追加登録：茨木市(イタリア) 追加登録：堺市(アルゼンチン) ※既登録：大阪市(オーストラリア)、泉佐野市(ウガンダ、モンゴル)、箕面市(ニュージーランド)、池田市(ロシア、フランス)、茨木市(オーストラリア)、貝塚市(台湾)、高槻市(オーストラリア) R2年度 新規登録なし	・ホストタウン推進 既登録の市町村への活動支援	スポーツ振興課
【施策 1】 ・東京オリンピック・パラリンピック参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る。市町村のホストタウン登録や事前キャンプ誘致を支援します。	【再掲】 ・オリ・パラ等キャンプ地等誘致事業 R1 188千円 R2 192千円	【再掲】 ・広域自治体として、府内域の優れた競技施設等を取りまとめた広報ツールにより、市町村が誘致意向を示す競技に係る団体や在関西総領事館等を対象に向け情報発信を行うことで、府内市町村の取組みを支援する。	【再掲】 H30年度 ・市町村の誘致活動の支援件数 5件 R1年度 ・市町村の誘致活動の支援件数 6件 R2年度 ・市町村の事前キャンプ・ホストタウン受入れに係るコロナ対策等を支援（関係機関との調整等）	【再掲】 ・キャンプ誘致主体である府内市町村の意思や動向を把握し、競技団体とも連携しながら、迅速かつ的確に支援していく	スポーツ振興課
【施策 2】 ・大阪のまちや人の魅力を発信し、世界トップレベルの市民マラソンとなるよう、大阪マラソンのさらなる進化・発展に取り組みます。その際には、海外からのエントリーも増加していることから、スポーツツーリズムの観点からも工夫を凝らします。	【再掲】 ・大阪マラソン開催費 H30 115,000千円 R1 90,000千円 R2 90,000千円	【再掲】 大阪マラソンは3万5千人のランナーが、大阪の誇る名所をかけぬけるスポーツの一大イベントである。令和元年度の第9回大会から、大阪城公園をフィニッシュ地点とし、造幣局、あべのハルカス、四天王寺など新たな大阪の名所を巡るコースに変更、令和2年度の大会から、定員を3万5千人に拡大し、さらに大阪の元気や都市魅力を国内外に発信、「世界一の市民マラソン」を目指す。	【再掲】 H30年度実績 ランナーエントリー総数 127,757人 うち国外 15,005人 ボランティア 10,010人 観衆 1,300,000人 R1年度実績 ランナーエントリー総数 131,337人 うち国外 15,082人 ボランティア 9,434人 観衆 1,330,000人 R2年度実績 新型コロナの影響により中止	【再掲】 ・大会の国際化を推進するために海外（特に欧米オセアニア）のエントリー獲得や大阪の都市魅力を国内外に発信する取組みを図る。 ・地元やボランティアによる更なるホスピタリティの向上や充実を図る	スポーツ振興課

主な施策の方向性	事業名 予算	概要	成果	課題	担当課
<p>【施策 3】</p> <p>・高水準の競技施設、プロスポーツの試合等大阪のスポーツ資源を活用したスポーツツーリズムの推進に、企業や関係団体と連携しながら取り組みます。</p>	<p>・プロスポーツチームとの連携による魅力発信事業</p> <p>H30 0千円 H31 0千円 R2 0千円</p>	<p>・スポーツを観光・都市魅力のコンテンツとして発信し、観光振興を図ることを目的に、大阪にゆかりが深く全国で活躍するトップリーグチームと連携した取り組みを実施。</p>	<p>H30年度</p> <p>・プロスポーツチームとの連携事業（計10回） （オリックス・バファローズ、阪神タイガース、セレッソ大阪、ガンバ大阪、大阪エヴェッサ、FC大阪、日本生命レッドエルフ） おもてなしブースやビジョン等を活用したPR、体力測定会の実施 大人の野球体験イベント、大阪スポーツイベントの動画によるPR ブースを活用したPR バックステージ・ピッチサイドツアー エスコートキッズ・ウォームアップアシスタント 総合型地域スポーツクラブダンスチームの派遣</p> <p>R1年度</p> <p>・プロスポーツチームと連携したイベント実施（計10回） （オリックス・バファローズ、阪神タイガース、セレッソ大阪、ガンバ大阪、大阪エヴェッサ、日本生命レッドエルフ、FC大阪、堺プレイザーズ、N T T ドコモレッドハリケーンズ） 体力測定会、スポーツ体験会の実施、大人の野球体験イベント 大阪スポーツイベントの動画によるPR（RWC2019WMG2021関西） ブースを活用したPR、総合型地域スポーツクラブダンスチームの派遣</p> <p>R2年度</p> <p>・オリックス・バファローズ：開幕試合に知事メッセージ動画の発信 ・大阪エヴェッサ：バスケットボールを支援学校16校に寄贈 ・ガンバ大阪：Jリーグ再開試合に知事メッセージ及びキックイン動画発信 ・近鉄ライナーズ：地域連携文書の発行 ・近鉄ライナーズ：もずやんがライナーズ体操にチャレンジした動画発信</p> <p>以下については、新型コロナの影響により中止。 ・プロスポーツチームと連携したイベント（スポーツ体験会、体力測定会） ・大人の野球体験イベント</p>	<p>・大阪スポーツ王国加盟チームのうち、連携が少ないチームとの連携を強化していく。 ・プロスポーツチームと総合型地域スポーツクラブとが連携する機会の創出（プロによる技術指導や、クラブメンバーによるプロチームイベント協力等）に取り組む。</p>	<p>スポーツ振興課</p>

主な施策の方向性	事業名 予算	概要	成果	課題	担当課
<p>【施策 4】</p> <p>・市町村、関係団体等と連携し、ランドマーク等大阪のブランド力を活用したスポーツイベントの誘致、開催を図ります。</p>	<p>・オリンピック・パラリンピック支援事業 (オリンピック聖火リレー・パラリンピック聖火フェスティバル)</p> <p>H30 4,675千円 H31 15,883千円 R2 61,236千円</p>	<p>・(公益)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会等が全都道府県において実施する聖火リレー、聖火フェスティバルを支援協力し、府域におけるオリ・パラに向けた機運醸成につなげる。</p>	<p>【オリンピック聖火リレー】</p> <p>H30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府内ルート等を検討、決定する「大阪府実行委員会」を設立 ・通過市町等を決定、組織委員会に提出 <p>R1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通過市を追加で決定、組織委員会に提出(5月) ・通過市町村等組織委員会が公表(6/1) ・聖火ランナー公募実施(7/1～8/31) ・聖火ランナー決定(12月) ・詳細ルート公表(12月) <ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピック競技大会及び聖火リレーの延期決定 (3月) <p>R2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピック競技大会の競技スケジュール決定 (7月) ・オリンピック聖火リレーの開催日程決定 (9月) <p>【パラリンピック聖火フェスティバル】</p> <p>R1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピック聖火フェスティバル決定 (3月) ・東京パラリンピック競技大会及び聖火フェスティバルの延期決定 (3月) <p>R2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京パラリンピック競技大会の競技スケジュール決定 (8月) ・パラリンピック聖火フェスティバルの開催日程決定 (9月) 	<p>・オリンピック・パラリンピックが一年延期となったため、オリンピック聖火リレーについては組織委員会の方針を踏まえながら、市町村・警察・消防と連携・調整していく。</p>	<p>スポーツ振興課</p>

主な施策の方向性	事業名 予算	概要	成果	課題	担当課
<p>【施策 5】 ・国や経済団体、スポーツ団体等と連携し、新たなスポーツ関連市場の創出・イノベーション等の取組を支援します。</p>	<p>【再掲】 ・プロスポーツチームとの連携による魅力発信事業 H30 0千円 H31 0千円 R2 0千円</p>	<p>【再掲】 ・スポーツを観光・都市魅力のコンテンツとして発信し、観光振興を図ることを目的に、大阪にゆかりが深く全国で活躍するトップリーグチームと連携した取組みを実施。</p>	<p>【再掲】 H30年度 ・プロスポーツチームとの連携事業（計10回） （オリックス・バファローズ、阪神タイガース、セレッソ大阪、ガンバ大阪、大阪エヴェッサ、FC大阪、日本生命レッドエルフ） おもてなしブースやビジョン等を活用したPR、体力測定会の実施 大人の野球体験イベント、大阪スポーツイベントの動画によるPR ブースを活用したPR バックステージ・ピッチサイドツアー エスコートキッズ・ウォームアップアシスタント 総合型地域スポーツクラブダンスチームの派遣 R1年度 ・プロスポーツチームと連携したイベント実施（計10回） （オリックス・バファローズ、阪神タイガース、セレッソ大阪、ガンバ大阪、大阪エヴェッサ、日本生命レッドエルフ、FC大阪、堺プレイゼー、N T Tドコモレッドハリケーンズ） 体力測定会、スポーツ体験会の実施、大人の野球体験イベント 大阪スポーツイベントの動画によるPR（RWC2019WVG2021関西） ブースを活用したPR、総合型地域スポーツクラブダンスチームの派遣 R2年度 ・オリックス・バファローズ：開幕試合に知事メッセージ動画の発信 ・大阪エヴェッサ：バスケットボールを支援学校16校に寄贈 ・ガンバ大阪：Jリーグ再開試合に知事メッセージ及びキックイン動画発信 ・近鉄ライナーズ：地域連携文書の発行 ・近鉄ライナーズ：もずやんがライナーズ体操にチャレンジした動画発信 以下については、新型コロナウイルスの影響により中止。 ・プロスポーツチームと連携したイベント（スポーツ体験会、体力測定会） ・大人の野球体験イベント</p>	<p>【再掲】 ・大阪スポーツ王国加盟チームのうち、連携が少ないチームとの連携を強化していく。 ・プロスポーツチームと総合型地域スポーツクラブとが連携する機会の創出（プロによる技術指導や、クラブメンバーによるプロチームイベント協力等）に取り組む。</p>	<p>スポーツ振興課</p>
<p>【施策 6】 ・府内のスポーツ関連の企業や大学のポテンシャルを生かし、スポーツ・健康等の分野に関心がある企業における新たな製品やサービスを創出する取組を支援します。</p>	<p>・健康産業創出支援事業 （大阪健康寿命延伸産業創出プラットフォーム） H29 2,474千円 H30 2,545千円</p>	<p>・健康寿命延伸産業分野での新産業の創出支援のため「大阪健康寿命延伸産業（OKJP）」を設置し、健康関連事業を実施する事業者の取り組みを、産学官が連携してサポートします。</p>	<p>H29 ・『スポーツ分野研究会』 参加者 24名 H30 ・健康寿命延伸産業イノベーションセミナー & 交流会 参加者 90名 ・アクセラレータープログラム 参加者 26名 ・健康産業有望プラン発掘コンテスト説明会 参加者 40名 ・健康産業有望プラン発掘コンテスト最終審査 参加者 84名 ⇒H31より、大阪健康寿命延伸産業創出プラットフォームの事務局を大阪産業局へ移管 H31、R2 ・知事賞授与</p>		<p>商工労働部 産業創造課</p>

主な施策の方向性	事業名 予算	概要	成果	課題	担当課
支援します。	<p>・健康産業創出支援事業 (健康産業創出システム構築事業)</p> <p>H29 6,853千円 H30 11,958千円 R1 11,071千円 R2 0千円</p>	<p>・企業ニーズと大学等シーズのマッチングから事業化まで一貫して支援を行い、スポーツ分野を含めた健康関連製品・サービスが自立的・持続的に生み出される仕組みを構築する。</p>	<p>H29</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEBシステムを活用したプラットフォームの構築に着手 ・有望シーズ（企業と研究機関等が上市に向けた共同研究等の実施に合意したもの）の選定 8件 <p>H30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEBシステムを活用したプラットフォームを構築 ・新たな有望シーズの選定 3件 <p>R1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEBシステムを活用したプラットフォーム（HBNet）を試行運用 ・新たな有望シーズの選定 2件 <p>R2 本格運用に移行</p>		<p>商工労働部 ライフサイエンス産業課</p>